

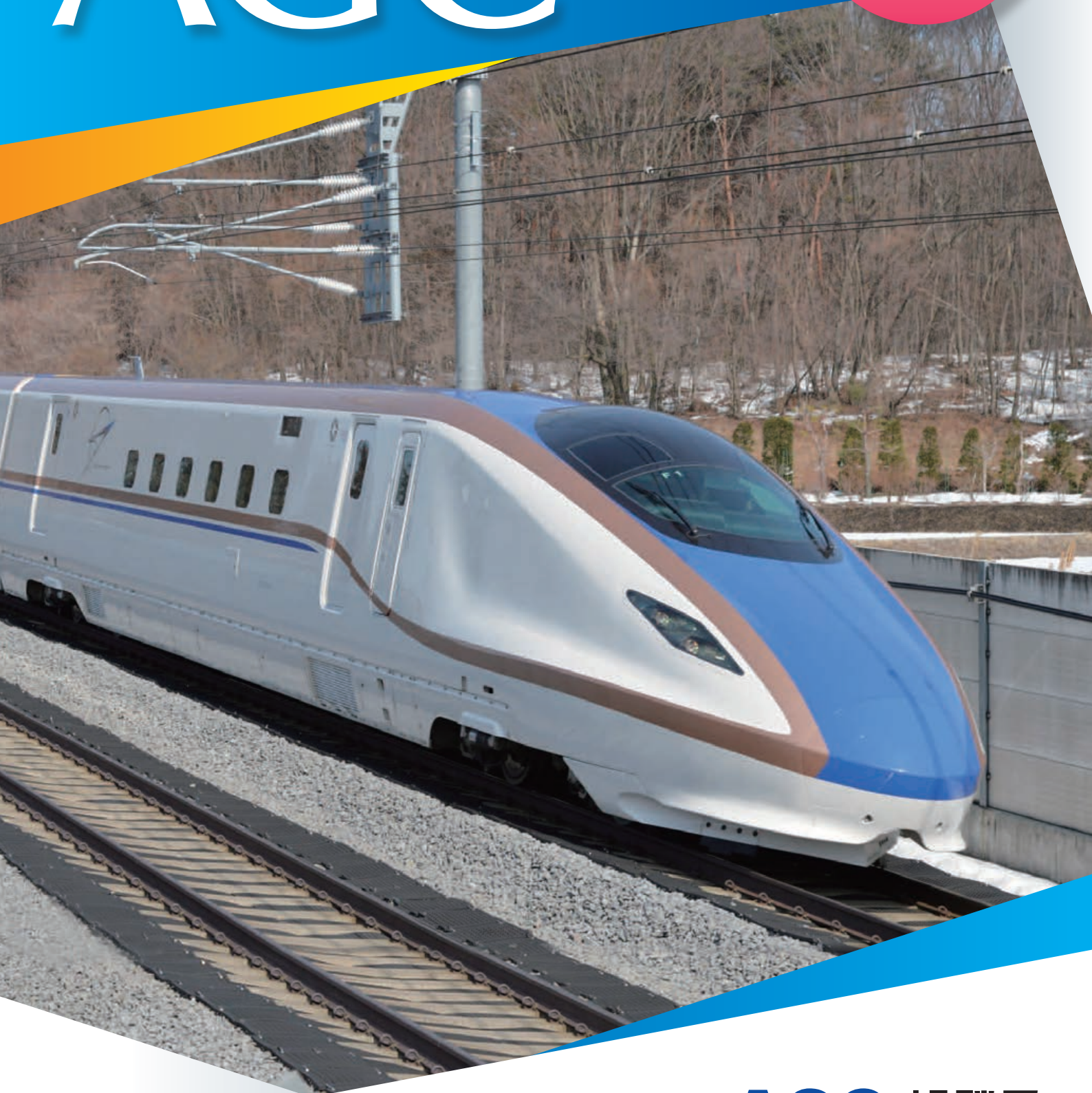
株主の皆さまとのコミュニケーション誌

AGC *Review*

[株主通信]

Vol. **27**

2015年9月発行



AGC 旭硝子

証券コード：5201

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2015年上半期の売上高は、ディスプレイ事業で減少したものの、円安などの要因により増加したことから、全体としては前年同期並みとなりました。営業利益は、これまで実施したガラス事業における事業構造改革の効果や、原燃材料価格下落の影響などから、前年同期に比べて83億円の増益となりました。上半期の営業利益が期初予想を上回ったことから、通期の営業利益予想を620億円から700億円に上方修正しています。

なお、中間配当金については、期初予想どおり1株当たり9円といたしました。期末配当金についても、期初予想どおり1株当たり9円を予定し、年間配当金は1株当たり18円を予定しています。

今期こそ業績を反転させ、成長軌道を取り戻す年にするとともに、経営方針 **AGC plus** に掲げた経営目標を達成し、株主の皆さまのご期待に応えるべく、役員・従業員一同、全力を尽くす所存です。

今後ともAGCグループになお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役兼社長執行役員CEO

島村 琢哉



2015年度上半期業績のポイント

売上高

液晶用ガラスの販売価格下落やプラズマ・ディスプレイ・パネル関連製品の販売終了によるディスプレイ事業の減収を、円安などの影響で補いほぼ前年並み

営業利益

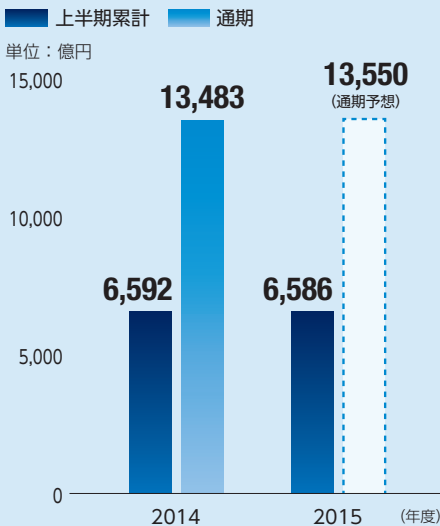
欧州・米国におけるガラス事業の構造改革を中心とするコストダウン効果や、原燃材料価格下落により増益

親会社の所有者に帰属する四半期純利益

営業利益の増益に加え、退職後給付制度改定益を361億円計上したことにより増益

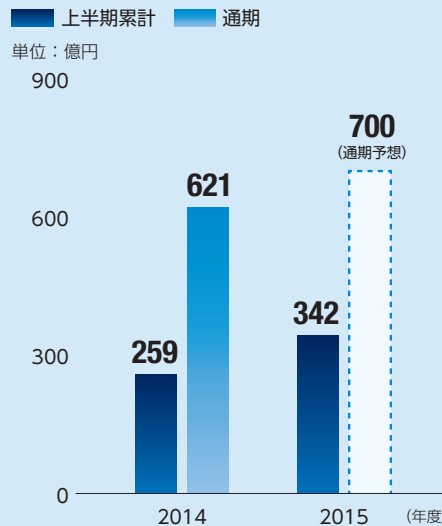
売上高

6,586億円 (前年同期比 0.1%減)



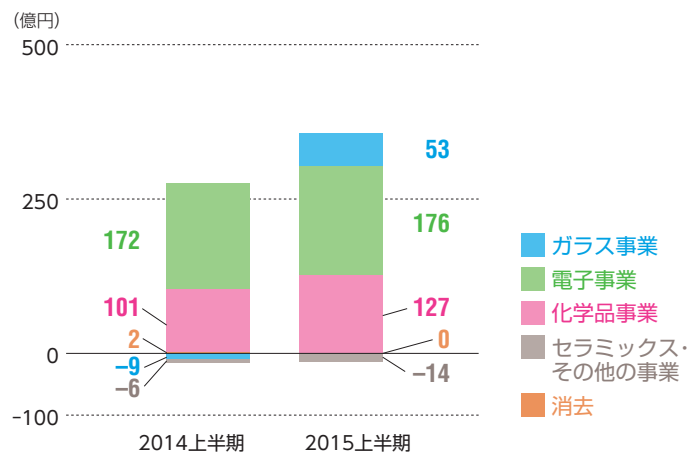
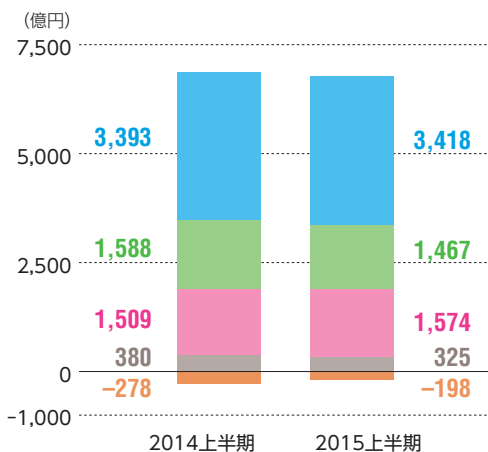
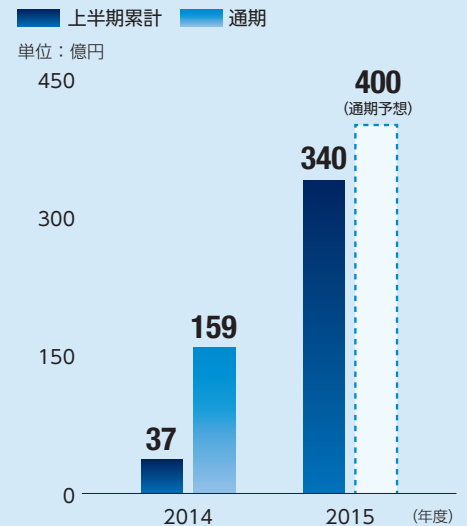
営業利益

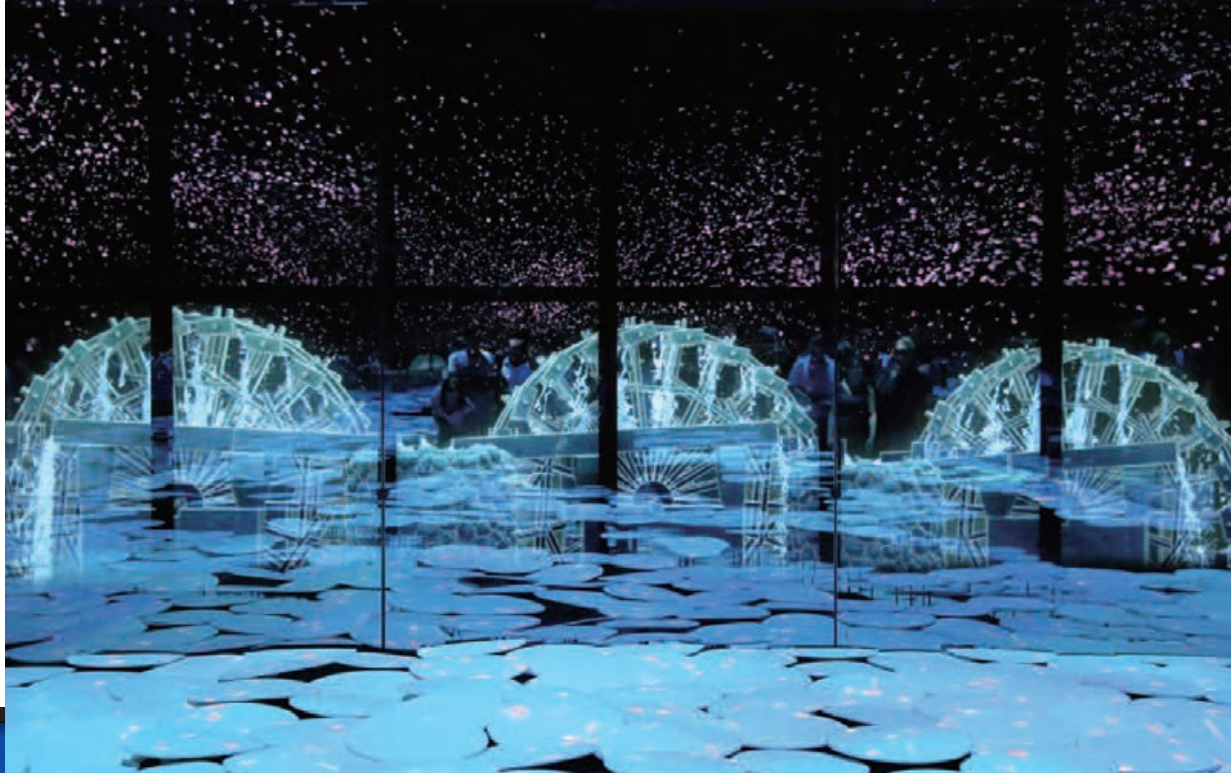
342億円 (前年同期比 32.1%増)



親会社の所有者に帰属する当期純利益

340億円 (前年同期比 821.0%増)





特集

ミラノ万博

AGCグループはミラノ万博の日本館・ベルギー館に協賛しています。

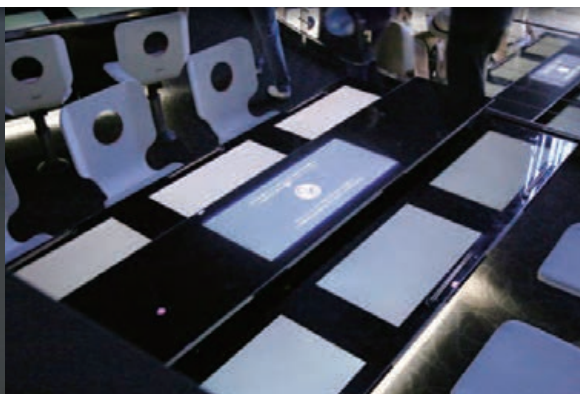


▲日本館の外観

本年5月1日から10月31日まで、イタリア・ミラノで開催しているミラノ国際博覧会（ミラノ万博）。AGCグループは、日本館・ベルギー館それぞれに製品を提供しています。

伝統文化と先端技術が融合した日本館の建築に、当社のガラス素材が彩りを添えます。また、デジタルサイネージを応用したメディアテーブルや空間を広げるハーフ・ミラー等、ガラス技術で芸術性とエンターテインメント性あふれる演出をお手伝いしています。

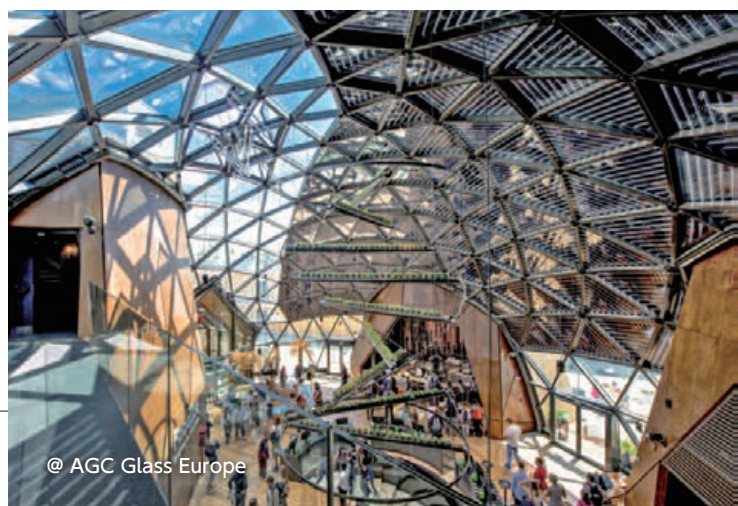
ベルギー館では、断熱ガラス、熱線反射ガラス、太陽電池用ガラス基板、内装用ガラス等のさまざまなガラス製品が快適でユニークな空間を創造しています。



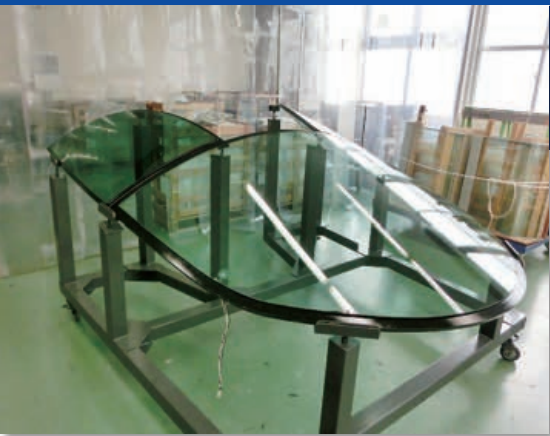
◀infoverre®（インフォバー）を使ったメディアテーブル

※ガラスのテーブルトップにディスプレイを直接貼り付けることで、反射を抑え、鮮やかな映像を映し出します。

▼ベルギー館の内観



私たちAGCグループは、世の中に「安心・安全・快適」を、お客様・お取引先様に「新たな価値・機能」と「信頼」をプラスすることで、業績の回復と持続的な成長を目指します。



▲車体の流線形に合わせ、従来よりもカーブを大きくとった前面ガラス

ガラス

AGCが北陸新幹線のすべての車両のすべてのガラスを提供

本年3月14日に開業した北陸新幹線のすべての車両に、AGCの鉄道用安全ガラスが搭載されました。

流線形の美しいデザインを実現しつつ運転室の高い視認性を確保する前面ガラス、断熱性と遮音性に優れお客様を安全に守る客室窓用ガラスをはじめ、前面ランプカバー用ガラス、行き先表示板用ガラス、内装ガラスなど、すべてがAGCのガラスです。

AGCには、新幹線をはじめとする高速鉄道の安全ガラスを手掛けて50年の経験があります。今後もAGCグループが持つ素材・技術の多様性を活かしながら、安全で快適な輸送機器を支える高付加価値製品の開発・提供を推進していきます。

電子

中国でTFT液晶用ガラス基板の一貫生産体制を実現

AGCは、中国広東省惠州市におけるTFT液晶用ガラス基板製造業の建設を決定しました。これにより、需要拡大が続く中国での素板から加工までの一貫生産体制を実現します。

この投資では、日本から最新鋭の設備を移設することにより設備投資額を大幅に圧縮します。稼動開始時期は2016年末～2017年初を予定しています。

AGCグループは、液晶用ガラス基板事業において、資産効率を高めながら、拡大する中国での需要を着実に取り込み、経営方針 **AGC plus** で掲げる企業価値の向上を目指していきます。



▲TFT液晶用ガラス基板生産拠点



▲千葉工場の製造設備

化学

千葉工場で自動車用冷媒HFO-1234yf製造設備を新設

AGCは、千葉工場に新設した、次世代の自動車用冷媒HFO-1234yf製造設備の竣工式を本年4月に実施しました。

カーエアコンに使われるHFO-1234yfは、従来品にくらべてGWP（地球温暖化係数）が1,300分の1と非常に小さく、地球温暖化への影響を抑える新冷媒として日本国内のみならず、欧米の自動車メーカーからも注目されています。

AGCは、環境対応型の低GWP冷媒の研究・開発に注力し、他社に先駆けてHFO-1234yfの生産技術を確立しています。今後も、コア技術の一つであるフッ素化学技術を活かし、環境負荷の低減と快適な暮らしの実現に貢献する製品を提供していきます。

工場見学会を開催します！

株主の皆さまに当社事業内容をより一層ご理解いただく目的で、工場見学会を開催します。今回は3回目の開催となり、建築用ガラスなどを生産している鹿島工場にて実施します。この機会にぜひご応募ください。

工場見学会の概要

実施
日時

2015年
12月2日(水)

実施
場所

旭硝子(株)鹿島工場



集合・解散場所：11：00 東京駅周辺集合／18：00 東京駅周辺解散

※集合・解散場所の詳細につきましては、当選された方に郵送するご招待状にてご案内申し上げます。

※昼食は当社でご用意いたします。

※解散時間は、当日の道路状況等により前後する可能性があります。あらかじめご了承ください。

鹿島工場の概要

温暖な気候、豊富な水資源、東京から80km圏という優れた立地条件を備えた鹿島臨海工業地帯。この中央に位置する旭硝子(株)鹿島工場は、1975年、ソーダ製品、有機化学製品の製造を開始。1981年には世界最大規模の建築用板ガラス製造設備が稼働し、総合工場としての歩みを始めました。その後、フッ素系ファインケミカル、高性能ガラス等へ活動領域を広げ、たゆみない成長を続けています。



鹿島工場
DATA

所在地 〒314-0195 茨城県神栖市東和田25
 操業開始年 1975年
 従業員数 488名(2014年12月末現在)
 主な事業内容 建築用板ガラスおよび化学品の製造



昨年の株主様工場見学会のご報告

2014年11月28日（金）旭硝子（株）鹿島工場にて第2回株主様工場見学会を開催いたしました。多数のご応募の中から、厳正な抽選により当選された24名の株主様にご参加いただき、好評のうちに終了しました。

参加された株主様の声（抜粋）

- 普段見ることが出来ない製品を見て、触れることができ、作っている製品がよくわかった。
- このような製造工程を見るのは初めてで感動しました。



■ 費用

無料（東京駅までの往復交通費は株主様にてご負担ください）

■ 応募要項

対象者：2015年6月30日現在、当社株式を1,000株以上ご所有の株主様（ご参加は株主様ご本人のみとさせていただきます）

募集人数：30名（同伴者はご遠慮ください）

応募方法：郵便ハガキに右記のとおり必要事項をご記入の上、送付をお願いします。（郵送料は株主様にてご負担いただきますようお願い申し上げます）

締切：9月30日（水）*当日消印有効

送付先：〒100-8405 千代田区丸の内1-5-1 旭硝子（株）工場見学会係

■ ご応募前の確認事項

※ご応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。抽選結果および当日の詳細につきましては、当選された方に2015年10月末日までに郵送にてお知らせいたします。（送付先は株主名簿上のお名前・ご住所宛）

※ご応募の際に、記載事項にもれ等の不備がありますと、ご応募を無効とさせていただきますので、ご注意ください。

※ご見学時は1時間程度の徒歩移動、バスの乗り降りおよび階段の昇り降りがございます。あらかじめご了承ください。

※工場内での撮影は禁止とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先：

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株主様サポートセンター 旭硝子工場見学会専用窓口

電話 0120-676-545（通話料無料） 土、日、祝日を除く 9：00～17：00

- ① 株主番号（8桁）
- ② お名前
- ③ 郵便番号
- ④ ご住所
- ⑤ 性別
- ⑥ 年齢
- ⑦ 電話番号

郵便はがき

1008405

千代田区丸の内一五一一

旭硝子（株）
工場見学会
係

※②お名前および④ご住所は株主名簿に記載の登録住所・氏名をご記入ください。

第91期（平成27年10月1日～12月31日）中間配当金計算書

株主番号 XXXXXXXX

税引配当金額(円)

株主番号は配当金計算書に記載しています

Q 単元未満株式を保有しているのですが、株式市場では売買できないのでしょうか。

当社では、単元未満株式（1,000株未満）の買取・買増請求制度を実施しています。

単元未満株式（1,000株未満）は、そのままでは株式市場で売買することができません。このため当社では、下記のように単元未満株式の買取・買増請求制度を実施しています。お手続きの詳細は、お取引のある証券会社等にご確認ください。

【例】当社の株式を550株ご所有の株主様



単元未満株式の買取・買増しにかかる当社の手数料は無料^(※)ですので、ご利用をご検討ください。

(※) お取引のある証券会社等へ支払う手数料については、別途証券会社等にご確認ください。特別口座に記録されている単元未満株式につき買取・買増請求をされる場合は、手数料は無料となります。

Q AGCの製品は、どのようなところで使用されているのでしょうか。

当社ウェブサイトでは、当社製品の採用事例を紹介しています。

当社ウェブサイトコンテンツ「発見! あなたのまわりのAGC -けっこう頼りになる存在。-」(<http://www.agc.com/hakken/>)では、生活シーンにおける当社製品の採用事例を紹介しています。意外に身近なものもありますので、ぜひご覧ください。



AGC 発見

検索

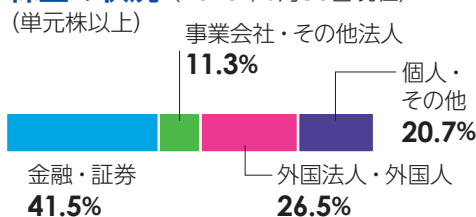
会社概要 (2015年6月30日現在)

商号 旭硝子株式会社
 英文社名 Asahi Glass Company, Limited
 創業 1907年9月8日
 設立 1950年6月1日
 資本金 90,873,373,264円
 本社所在地 〒100-8405 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 (新丸の内ビルディング)
 電話 (03) 3218-5096
 連結対象子会社数 194社 (うち海外156社)

株式の状況 (2015年6月30日現在)

発行済株式総数 1,186,705,905株
 株主数 66,950名
 (単元株以上株主 56,094名)

株主の状況 (2015年6月30日現在)



株式関連情報

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 定時株主総会開催月 3月
 基準日 定時株主総会 12月31日
 期末配当 12月31日
 中間配当 6月30日
 公告方法 電子公告

【公告掲載アドレス】 <http://www.agc.com>

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
 三菱UFJ信託銀行株式会社

【電話お問合せ・郵便物送付先】
 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 (0120) 232-711 (通話料無料)

配当金のお支払いについて

配当金は、支払開始の日から満5年を経過いたしますと、定款の定めにより、お支払いができなくなりますので、お早めにお受け取りください。
 なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ

株主様がご所有の当社単元未満株式（1～999株）につきましては、上記のとおり、当社に対し買取・買増をご請求することができます。お手続き用紙のご請求その他お手続きの詳細は、下記お問合せ先までご連絡ください。

株式に関するお問合せ先

証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
<p>口座を開設されている証券会社等</p>	<p>三菱UFJ信託銀行株式会社 (特別口座管理機関) 電話 (0120) 232-711 (通話料無料) ※特別口座に記録された株主様の住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式の買取、口座振替に必要な各用紙のご請求は、特別口座管理機関のフリーダイヤル (0120) 244-479 (24時間・自動音声対応) をご利用ください。</p>